

平成 30 年度 総合科学コース2年 特別講義

「紙コップの不思議を探る」

京都教育大学 教育学部 教授 村上 忠幸 先生

7月19日（木）3・4時間目

今回の特別講義では、クラス全員で探究活動にチャレンジしました。

紙コップにお湯を入れると、底面にくもりが生じます。この原因を、班ごとにさまざまな実験を行いながら調べました。易しい実験のようにみえて、とても奥が深く、生徒達は班で話し合い、試行錯誤しながら原因を探っていきました。

この講義を受けて生徒達は、論理的に考えることの大切さや、相手に意見を伝えることの難しさに気付いたようです。普段なかなか経験できない、有意義な機会になりました。

<生徒の感想より>

- はじめ「簡単にできるやん」と思っていたけど、やってみるととても奥が深くて難しかったです。
- やればやるほど謎が深まり、仮説を立てながらやってみたらそれが違うことがわかったりして、面白かったです。
- 班全員で考え意見を言うことができたので、答えに近づいていくことができました。
- 普段の当たり前のことを「どうしてだろう？」と思うことは大切だと感じました。
- これからも考える力を伸ばしていきたいです。



どんな実験をするか教えてもらいます



時にはヒントをもらいながら…



班で試行錯誤しながら、実験に取り組みました